

別冊資料

モデル校の目標協働達成の4点セット（事例）

市町村名	学校名	頁
中津市	今津小学校	1
豊後高田市	高田小学校	2
	桂陽小学校	3
姫島村	姫島中学校	4
国東市	富来小学校	5
	竹田津小学校	6
日出町	藤原小学校	7
別府市	上人小学校	8
大分市	田尻小学校	10
津久見市	青江小学校	11
佐伯市	昭和中学校	12
豊後大野市	朝地小学校、朝地中学校	13
九重町	南山田小学校	14
玖珠町	八幡中学校	15

＜学校教育目標＞ 豊かな心と確かな学力を身につけ、
夢を抱き、たくましく生きる子どもの育成

重点目標	達成指標		重点的取組	取組指標
学力保障	○12月実施の中津市学力状況調査で、C層の児童を35%以内にする。	学校	○言語活動を重視した授業改善を行う。 ○習熟の程度に応じた指導を取り入れる。	○5分間の「一人学び」を、毎日1回以上取り入れる。 ○習熟の程度に応じた指導を取り入れる。(3～6年 算数) ○子どもの力に応じた、家庭学習支援を全教職員で行う。
		家庭	○家庭学習の習慣づけへ、取組を行う。	○毎日、「宿題は終わった？」と聞く。 ○「チェックカード」の記入。
		地域	○学校へ行こう。	○学校行事、今津校区協育ネット会議で、学校に行く。
凡事一流	○「地域の人にあいさつができた」70%以上をめざす。 ○「そうじにがんばっている児童」90%以上をめざす。	学校	○「あいさつ運動」に取り組む。 ○「自分でそうじ」に取り組む。	○「あいさつ運動」の対象を3年以上に広げる。 ○「自分でそうじ」の3玉を、学力・夢・学校生活全般につなぐ。
		家庭	○「あいさつ運動」に取り組む。	○毎朝、親から先にあいさつをする。
		地域	○声をかけよう。	○「おはよう」「おかえり」「がんばれよ」などの声かけを行う。
元気安全	○「朝ご飯を食べた児童」90%以上、「早寝・早起きができた児童」(1～4年70%・5,6年50%)をめざす。 ○「なわとびが好きな児童」70%以上にす。	学校	○「早寝・早起き・朝ご飯」を徹底する。 ○「なわとび運動」が日常化する取組を行う。	○「早寝・早起き」全教職員・委員会で徹底して指導する。 ○家庭用ポスターで啓発を図る。 ○家庭への食い込みを強める。(スマホ・ゲーム2時間以内)
		家庭	○「早寝・早起き・朝ご飯」を徹底する。	○毎日、家族で決めた時刻に、寝せる、起こす。 ○毎朝、朝ご飯を食べさせる。
		地域	○子どもを守ろう。	○登下校の交通安全・見守り・声かけを行う。

平成27年度 学校経営4点セット具体的な取組(協働4点セット)

豊後高田市立高田小学校

1, 教育目標 「よく学び 心豊かに たくましく、共に伸びる 高田っ子」

2, 重点目標

○確かな学力の定着 ○心豊かな子どもの育成 ○運動好きなき子どもの育成 ○保護者地域との連携

3, 重点目標・達成目標・重点的取組・取組指標(学校・家庭・地域)

重点目標	達成指標	重点的取組	取組指標(学校)	取組指標(家庭)	取組指標(地域)
確かな学力の定着	○学力調査における活用問題の平均正答率を3点上回る。 (3学年以上) ○データベースのまとめテストで80%以上達成する。(1・2年)	児童が思考し学習し合った授業過程を取り入れた授業作りをめざす。 「高小学習のスタンダード」の定着を促す。 家庭学習の習慣化を図る。(10分×学年+10分)	思考する時間5分、活動(伝え合う等)する時間15分を設定する。互見授業1人2回以上。 学習規律の進捗状況を学年長が確認する 担任が活字チェック表をつけ、していない児童は放課後個人指導する。「～です。」「ます。」を使っている。	○「子どもに関わろうる週間」を設定し、PTA会員が児童の家庭学習に関わる意欲付けを図る。(6月・10月実施) ○期末PTAで全学年の共通課題にする。	○ステップアップの学習サポーターとして児童の学力の定着度合いを把握する。 ○学校公開日に参加し、授業を参観することで「高小学習スタンダード」の進捗状況を把握する。
心豊かな子どもの育成	○学期末アングレート70%達成する。 ○保護者・児童アンケート「掃除」「言葉遣い」の項目が70%達成する。	授業中は、教師も児童も敬体を使う。 無言清掃を定着させ、きれいで落ち着きのある学校にする。 「チクチク言葉」を減らし、「ふわふわ言葉」を増やす。	掃除の仕方を身に付けさせ、無音の13分間をつくる。 毎月第1週のみ、帰りの会で相手を呼び捨てしないで「○○さん」と呼ばたか確認をする。	○期末PTAで全学年の共通課題にする。(7月・12月実施) ○地区委員会の早期交通安全運動に「あいさつ」を取り入れる。 自治委員さんと子どもたちをつなぐ。(クリナー活動・ラジオ体操第1・2) ○全校読書を進め、読書のすすめコーナーを設置する。(母親部9月実施)	○スクールガード等と連携し、児童の挨拶運動を支援する。 ○年間2回のクリナー活動時に各地区の児童と共に清掃活動に取り組む。(自治委員さんと連携7月・12月)
運動好き な子どもの育成	○運動や外遊びがすぎと答える児童を90%以上にする。	遊びと運動した運動(1校1実践)に取り組む。 児童会と連携して、運動をしたくなる環境づくりに取り組む。	体力チャレンジタイムを、月(高)、水(低)、金(中)の朝の15分間行う。 週2回の運動場の環境づくりをする。	○児童の遊びの環境作りとして中庭の芝生化に取り組む。(内藤さん来校、5月実施済み、継続中植え継6回) ○遊具コーナーの塗装の塗り替えをする。(12月実施) ○「てくてくとく運動」の協力を願う。(10月実施)	○運動会・持久走大会・相撲大会に積極的に参加し、児童の体力の向上具合を観察する。(盆踊りの振り起し、「らんきよぼうず」実施) ○夏休みのラジオ体操で児童と共に体づくりをする。(ラジオ体操1・2) ○水泳教室に協力する。(7月実施)
保護者 地域との連携	○保護者アンケートで「言葉遣い」の項目が70%以上にする。	ふわふわ言葉で会話をふやす。 家庭学習に取り組む。	「子どもにかかわろう週間」で進捗状況を研修部が確認する。 Pが中心となって「子どもにかかわろう週間」を設定する。	○給食試食会で朝ごはんとはんと会話の重要性について話をする。(6月 実施) ○「応利山」でスマホ・ラインなどのアンケート結果を乗せる。(7月実施) ○「応利山」にコミュニケーションナー。 ○期末PTAで情報モラルの講演会。(7月実施) ○「自分で作るスマホ等ルール作り」(1月実施)	○もみじ村での体験活動(竹の子掘り・香取線香作り・しいたけ栽培等)をする。 ○地域支援本部コーディネーターに支援いただき、人材バンクを活用する。(点字・平和・手芸・俳句など) ○公民館活動との連携を図る。(人権の花贈呈9月実施・人権教室)

【その他の主な取組】

- ・学校図書館活用推進事業(市)
- ・布町村学力向上戦略支援事業(県)
- ・目標協働達成校
- ・大分っ子体方向上推進事業(県)
- ・コミュニケーション事業
- ・特別支援教育の充実

【本校の支援体制】

- ・スクールカウンセラーの配置
- ・学校の21世紀塾「寺子屋昭和館」
- ・「ひまわり」算数教室
- ・自転車の安全運転モデル校

	取り組み内容		
	学校	家庭	地域
学 び コ ミ ュ ニ テ ィ	<p>○課題や問いに対する自分の考えを書けているかどうか、学び合いの場の評価を毎時間行う（国・算）。《授業者》</p> <p>○授業観察により、聞き合う場の評価、指導をする。《校長・教頭・教務主任》</p> <p>○学期2回の「話すこと・聞くこと」調査（記述を含む）の実施による評価、改善を行う。《学習部》</p> <p>○学校行事のお知らせをより広範囲に配る。</p> <p>○学級通信や連絡帳、日記等に保護者が思いを綴ることのできる欄を入れる。</p>	<p>○学期に1回以上授業参観をし、授業の様子や子どもたちの様子についてアンケートに答え提出する。</p> <p>○毎日、子どもと、向き合う(話す)時間を15分もつ（アンケートに時間の項目も入れる）</p> <p>○学級通信や日記に保護者が思いを綴ることのできる欄があったら、その欄や連絡帳に出来る限り思いを書き込み、担任に届ける。</p> <p>○できるだけ学校行事に参加する。</p> <p>○学習サポーターとして子どもの学習支援を積極的に行う。</p>	<p>○学期に1回以上授業参観を行い、できるだけ授業の様子や子どもたちの様子についてアンケートに答え提出する。</p> <p>○学校アンケートに回答する</p> <p>○できるだけ学校行事に参加する。</p> <p>○学習サポーターとして子どもの学習支援を積極的に行う。</p>
環 境 コ ミ ュ ニ テ ィ	<p>○授業や縦割り班活動等で日常的にアサーショントレーニングを実施し、研修で月1回、実践交流や目標の振り返り見を行う。《生活指導部》</p> <p>○児童会・教職員で毎週火曜日にあいさつ運動を行い、よくできている子どもを集会でほめる。《生活指導部》</p> <p>○あいさつ通りを作り、会った人全員にあいさつをかわそうとする学校全体の雰囲気をつくる。《生活指導部》学級でも目標設定と振り返りをする。《担任》</p>	<p>○あいさつ運動に参加する（環境コミュニティ部員で今学期中に1度は参加する）</p> <p>○家庭でも状況に応じて、「おはよう」「おかえり」「おやすみ」等の挨拶を交わす。</p> <p>○登下校の子どもに会ったら挨拶をする。（キッチコピーを考え実行する）</p> <p style="text-align: center;">(あ) (い) ^{さき}先運動</p> <p>○生活アンケートに回答する。</p>	<p>○登下校中の児童に出会ったら挨拶をする。</p>
安 全 コ ミ ュ ニ テ ィ	<p>○サーキットストレッチ、個人メニューの取り組みの振り返りを毎月行う。《担任》</p> <p>○学期2回（3学期は1回）、生活点検表で生活習慣の実態把握・評価・改善を行う。《体育部》</p> <p>○「歯みがきカレンダー」を作成し、欠かさず取り組んでいる個人・学級を表彰する。《体育部》</p>	<p>○生活点検表への記録・提出を確実に行う。</p> <p>○学校アンケートに回答する</p> <p>○一斉下校や登校班での登下校時に顔を出す。（子どもたちの見守り活動をする）</p> <p>○地域行事に極力参加する。</p>	<p>○一斉下校や登校班での登下校時に顔を出す。</p> <p>○地域行事に極力参加する。</p>

学校経営の最重点

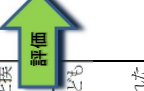
目標協働4点セット

3学期目標協働の評価基準

重点目標達成指標	重点的取組	学校の取組指標
■ 村学カネテストにおける目標値達成項目70%以上	<ul style="list-style-type: none"> ○ (授業改善) ○ (補充学習) ○ 家庭学習時間を確保させる 	<ul style="list-style-type: none"> ● (五見授業・研究授業の活用) ● (放課後:A問題) ● (週末:B問題) ● 小中会本「家庭学習のすすめ」を全家庭に配布し、活用する ● 宿題を指示された日に提出させる ● 1日1ページの自学ノートに取り組ませる
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全校生徒で毎日、挨拶運動に取り組む ○ (言葉遣い) ○ (身なり) ○ (学習規律) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 全校を6グループに分け、毎朝15分間(7:45~8:00)校門前で、登校する生徒や地域の方への挨拶運動をさせる ● (毎月1週間の言葉遣い意識週間) ● (月1回の身なりチェック) ● (毎月)の学習規律強化週間)
重点目標	基礎基本の定着	規範意識の確立
達成指標	■ 村学カネテストでの達成率70%以上	■ 学校のきまりが守れている生徒の割合100%



達成指標	重点的取組	取組指標
■ 家庭学習時間確保率70%以上	<ul style="list-style-type: none"> ○ 家庭学習について声かけをする ○ 学習や読書に集中できる環境をつくる ○ 学習に対する気運を地域から盛り上げる 	<ul style="list-style-type: none"> ● (五見授業・研究授業の活用) ● 携帯電話・パソコン等の終了時刻(午後10時)や不使用時間(学習時間中・毎日の家庭学習時間中)を守らせる
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 親から挨拶をする ○ 地域の人との挨拶について話し合う ○ 子どもを見かけたから挨拶する ○ 民生委員・児童委員が挨拶運動をする 	<ul style="list-style-type: none"> ● 毎朝、親子で挨拶をする ● 1週間に1度、地域の人(誰、どの人)と挨拶したか話し合う ● 毎日、出会った子どもに挨拶する ● 子どもから挨拶されたら必ず挨拶を返す ● 毎月1回、民生委員等が正門前の挨拶運動を実施する
達成指標	■ 規範意識の確立	



重点的取組	1学期		2学期		3学期	
	1学期目標 (人数)	Aの% (人数)	2学期目標 (人数)	Aの% (人数)	3学期目標 (人数)	Aの% (人数)
● 子どもの家庭学習時間を毎日確認している	(A評価) 保護者70%	50%	(A評価) 保護者70%	42%	(A評価) 保護者70%	61%
● 子どもの携帯電話・パソコン等の使用終了時刻が守られている	(A評価) 保護者80%	72%	(A評価) 保護者80%	75%	(A評価) 保護者80%	67%
● 子どもはタブレット期間中、携帯電話・パソコンを使っていない	(A評価) 保護者80%	70%	(A評価) 保護者80%	65%	(A評価) 保護者80%	76%
● 子どもは毎日の家庭学習中に携帯電話・パソコンを使っていない	(A評価) 保護者80%	81%	(A評価) 保護者80%	79%	(A評価) 保護者80%	85%
● 携帯電話・パソコンの使用方法について親子で話し合いができ守らせている	(A評価) 保護者80%	80%	(A評価) 保護者80%	77%	(A評価) 保護者80%	70%
● 2学期の学校公開の参観者 総計30人以上	(A評価) 参観者30人	29人	(A評価) 参観者30人	110人 文化祭含む	(A評価) 参観者30人	13人
● 毎朝、親子で挨拶をする	(A評価) 保護者90%	88%	(A評価) 保護者90%	87%	(A評価) 保護者90%	94%
● 1週間に1度、地域の人(誰、どの人)と挨拶したか話し合う	(A評価) 保護者60%	100%	(A評価) 保護者70%	95%	(A評価) 保護者70%	94%
● 村内の各種会合で、地域の方から生徒の挨拶について意見をもたう	A	A	A	A	A	A

学校名	国東市立富来小学校
-----	-----------

校内研究部会(研究主任・体育主任・学年部代表)

【学校の教育目標】	夢に向かって 自ら学び 心豊かで たくましく生きる児童の育成 一 にここに ぐんぐん 何かでキラリ ひとみ輝く「富来っ子」一
-----------	---

重点目標	達成指標	年間達成評価	所属	重点的取組	取組指標	担当	学期毎の取組評価と改善点					
							1学期評価	2学期評価	3学期評価	改善点	改善点	改善点
すすんで学ぶ子の育成(学力・体力の向上)	①単元毎の習熟度を把握し、全学年において達成率70%以上にする。 【昨年度】 ・国語 1・6年 達成 ・算数 1年 達成 【本年度】 ・国語 1・2・4年 達成 ・算数 1・2年 達成 ・理科 なし ②各種学力調査において全学年偏差値50を超える。 【昨年度】 ・全国調査(6年生) 達成 ・県調査(5年生) 未達成 ・市調査(全学年) 1・5・6年 達成 【本年度】 ・全国調査(6年生) 未達成 ・県調査(5年生) 未達成 ・市調査(全学年) 達成 ③運動や外遊びが好きと答える児童の割合を75%以上にする。 【昨年度】 ・運動や外遊びが好き 73% 【本年度】 ・運動や外遊びが好き 75%	C	学校	①全ての学級で1時間完結型授業を徹底する。 (授業改善5点セットの検証) ②個に応じた指導時間の確保と充実を図る。 ③読売ワークの活用と多読の取組を行う。 ④学校全体で体力づくりに取組む。 ①学校の教育目標等の共通理解を図る。 ②「家庭学習の手引き」を活用し、家庭学習の徹底を図る。 ③親子読書を行う。 ④親子体力づくりに取組む。	①全教員が学期に1～2回はスモールステップ表に子どもの高まり(姿容)を記録し検証するとともに学期に1～2単元は毎時間課題を記録し自己点検する。 ②4年生以上の児童による授業アンケート、全校によるふりかえりアンケートを学期末に実施する。 ①全職員が関わりドリルタイムを毎週月曜日の放課後実施する。(20分間) ②全職員が関わり計算タイムを毎週木曜日の朝実施する。(8:15～8:30) ①全学年が週1枚以上読売ワークを活用する。(1年生は2学期から実施する) ②全学年が年間80冊以上(35・35・10)の読書に取組む。 ①全学年で毎週水曜日(8:15～8:30)と月・火・木・金の中休み5分間体力づくりに取組む。 ②体育専科教員と担任が全学年で毎時間体育授業の導入として基礎体力づくりに取組む。 ①全家庭が学期2回以上、授業参観等へ参加する。 ①全家庭が学期1回の家庭学習強化週間中、実施率100%にする。 ①全家庭が年1回以上「図書箱開放読みデー」(PTA研修部主催月1回実施)に参加する。 ①全家庭が計画して親子健康づくりを取組む。 ①地域の先生(GT)として全学年に1・2学期に1回以上授業支援に入る。 ②読み聞かせスタンプとして週1回毎週金曜日の朝、読み聞かせを行う。 ③学びの学習サポーターとして年間40回(水30・土10)学びの教室を実施する。	校内研究部会・PTA専門部・目標協働達成チーム会議地域部	B	B	B	教務主任が毎月第1週の運営委員会の中でチェックしていく。	教務主任や研究主任が職員会議で声かけをする。	B
							B	B	B	教務主任が11月の運営委員会で提起し、学年毎に実施日を決める。	教務主任が1月の運営委員会で提起し、学年毎に実施する。	A
							B	B	B	教務主任が毎月の運営委員会で全職員向けに行う。実施状況を報告する。	教務主任の提案で全職員が関わり計画的に実施する。	A
							A	A	A	担当が月初めにワークを準備しておき、研究主任が毎月の運営委員会で実施状況を報告する。	研究主任の提案で全職員が関わり計画的に実施する。	A
すすんで学ぶ子の育成(学力・体力の向上)	①全家庭が学期2回以上、授業参観等へ参加する。 ①全家庭が学期1回の家庭学習強化週間中、実施率100%にする。 ①全家庭が年1回以上「図書箱開放読みデー」(PTA研修部主催月1回実施)に参加する。 ①全家庭が計画して親子健康づくりに取組む。 ①地域の先生(GT)として全学年に1・2学期に1回以上授業支援に入る。 ②読み聞かせスタンプとして週1回毎週金曜日の朝、読み聞かせを行う。 ③学びの学習サポーターとして年間40回(水30・土10)学びの教室を実施する。	C	家庭	①学校の教育目標等の共通理解を図る。 ②「家庭学習の手引き」を活用し、家庭学習の徹底を図る。 ③親子読書を行う。 ④親子体力づくりに取組む。	①全家庭が学期2回以上、授業参観等へ参加する。 ①全家庭が学期1回の家庭学習強化週間中、実施率100%にする。 ①全家庭が年1回以上「図書箱開放読みデー」(PTA研修部主催月1回実施)に参加する。 ①全家庭が計画して親子健康づくりに取組む。 ①地域の先生(GT)として全学年に1・2学期に1回以上授業支援に入る。 ②読み聞かせスタンプとして週1回毎週金曜日の朝、読み聞かせを行う。 ③学びの学習サポーターとして年間40回(水30・土10)学びの教室を実施する。	PTA研修部	B	B	B	PTA研修部がPTA新聞やPTA役員会・総会等で呼びかける。	PTA研修部がPTA新聞やPTA役員会・総会等で呼びかける。	B
							C	C	C	PTA研修部がPTA新聞やPTA役員会・総会等で呼びかける。	PTA研修部がPTA新聞やPTA役員会・総会等で呼びかける。	A
							C	C	C	PTA研修部がPTA新聞やPTA役員会・総会等で呼びかける。	PTA研修部がPTA新聞やPTA役員会・総会等で呼びかける。	B
							C	C	C	PTA研修部がPTA新聞やPTA役員会・総会等で呼びかける。	PTA研修部がPTA新聞やPTA役員会・総会等で呼びかける。	A
すすんで学ぶ子の育成(学力・体力の向上)	④体力運動能力調査において全国平均以上の項目を全体の60%以上にする。 【昨年度】 ・96項目中51項目 達成 54% 【本年度】 ・96項目中51項目 達成 68%	A	地域	①積極的に学校支援を行う。 ②ふれあい体力づくりに取組む。	④体力運動能力調査において全国平均以上の項目を全体の60%以上にする。 【昨年度】 ・96項目中51項目 達成 54% 【本年度】 ・96項目中51項目 達成 68%	PTA研修部	A	A	A	PTA研修部がPTA新聞やPTA役員会・総会等で呼びかける。	PTA研修部がPTA新聞やPTA役員会・総会等で呼びかける。	A
							A	A	A	PTA研修部がPTA新聞やPTA役員会・総会等で呼びかける。	PTA研修部がPTA新聞やPTA役員会・総会等で呼びかける。	A
							A	A	A	PTA研修部がPTA新聞やPTA役員会・総会等で呼びかける。	PTA研修部がPTA新聞やPTA役員会・総会等で呼びかける。	A
							A	A	A	PTA研修部がPTA新聞やPTA役員会・総会等で呼びかける。	PTA研修部がPTA新聞やPTA役員会・総会等で呼びかける。	A

※評価規準:A(100%)、B(80以上100%未満)、C(50以上80%未満)、D(50%未満)

平成27年度 学校経営の最重点

【学校の教育目標】 自ら考え学び 心豊かで たくましい 竹っ子 の 育 成 国東市立竹田津小学校

<重点目標> 運動や外遊びが好きな子 >

重点目標 *~最重点	達成指標	重点的取組	学 校		家 庭		地 域		学 期 評 価		担 当	学 期 末 評 価		改 善 点
			学 期 評 価	学 期 評 価	学 期 評 価	学 期 評 価	学 期 評 価	学 期 評 価	学 期 評 価	学 期 評 価		学 期 評 価	学 期 評 価	
* 勉強に頑張る子	■学期、国・全・理・正のテストで達成率75%以上 ■単元テストで達成率80%以上 ■学力テストで達成率80%以上 ■市学力テストで達成率80%以上 ■市学力テストで達成率80%以上	①考えたことと自分の考えを交流し、お互いに学びあう機会を創出する。 ②朝・下校時の挨拶を徹底する。 ③朝・下校時の挨拶を徹底する。 ④朝・下校時の挨拶を徹底する。 ⑤朝・下校時の挨拶を徹底する。	1 3 3 3 2 3 3 3 3 3 3 3 4 4 4 4	1 3 3 3 2 3 3 3 3 3 3 3 4 4 4 4	1 3 3 3 2 3 3 3 3 3 3 3 4 4 4 4	1 3 3 3 2 3 3 3 3 3 3 3 4 4 4 4	1 3 3 3 2 3 3 3 3 3 3 3 4 4 4 4	1 3 3 3 2 3 3 3 3 3 3 3 4 4 4 4	1 3 3 3 2 3 3 3 3 3 3 3 4 4 4 4	1 3 3 3 2 3 3 3 3 3 3 3 4 4 4 4	1 3 3 3 2 3 3 3 3 3 3 3 4 4 4 4	1 3 3 3 2 3 3 3 3 3 3 3 4 4 4 4	1 3 3 3 2 3 3 3 3 3 3 3 4 4 4 4	3 3 3 3 4 4 4 4 5 5 5 5 6 6 6 6
友だちと仲良くする子	■学期、児童アンケートで「いいね」の発生件数0 ■学期、児童アンケートで「いいね」の発生件数0	①各学年、児童アンケートを実施する。 ②各学年、児童アンケートを実施する。 ③各学年、児童アンケートを実施する。 ④各学年、児童アンケートを実施する。	4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4	4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4	4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4	4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4	4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4	4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4	4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4	4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4	4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4	4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4	4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4	4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4
運動や外遊びが好きな子	■学期、児童アンケートで「外で遊んでいる」と回答した割合が5%以上 ■学期、児童アンケートで「外で遊んでいる」と回答した割合が5%以上	①各学年、児童アンケートを実施する。 ②各学年、児童アンケートを実施する。 ③各学年、児童アンケートを実施する。 ④各学年、児童アンケートを実施する。	4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4	4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4	4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4	4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4	4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4	4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4	4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4	4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4	4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4	4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4	4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4	4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4

平成27年度 藤原小学校「目標協働4点セット」

【学校教育目標】

地域とともに『学び合い』『高め合う』藤原っ子の育成

重点目標	達成指標	重点的取組	取組指標
「思考力」「判断力」「表現力」の向上	「体験学習や『学び合い』を通じて、自分の考えを深めたり広げたりすることができてきていると思うか」の質問に8割以上が肯定的に答える。	学校	<ul style="list-style-type: none"> ・学校研究、学級経営、教師の『学び合い』の充実 ・「体験的な学習」及び「『学び合い』学習」の充実
		家庭	<ul style="list-style-type: none"> ・ノースクリーンデー活動の実施
		地域	<ul style="list-style-type: none"> ・人材バンクを作り、招聘授業や体験的学習を実施
豊かな心の育成	「人のために働いて喜んでくれることはうれしいと思うか」の質問に8割以上が肯定的に答える。	学校	<ul style="list-style-type: none"> ・FOR YOU活動の推進 ・黙働掃除の徹底と深化 ・一人一鉢運動の推進
		家庭	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭内のFOR YOU活動
		地域	<ul style="list-style-type: none"> ・児童と連携した花の配布 ・学校の松の剪定

平成27年度 学校運営協議会

取組【家庭用シート】

別府市立上入小学校 学校運営協議会
平成28年2月29日

※家庭での重点的取組、取組指評は「重点目標」に対しての取組ととらえます。（学校の重点的取組・指標とは直接関連しません。）				
項目	重点目標	重点目標の達成指標	重点的取組	家庭での取組指標
	学ぶ力の向上	(職く指導) 1 児童の働き方アンケート「働き方 人になろう」において、「謎の内容を理 解しよう」としている。と答えた児童の 割合を80%以上にする。 2 児童の音読アンケート (朝のトリルタイムの充実) 「音読名人になろう」において、「気持 ちをこめて読んで いる」と答えた児童の割合 を80%以上にする。	・保護者による持ち物、宿題 チェックを行う。 ・家庭学習のしおりによる家庭 学習のチェックを行う。 ・夏休み「アップ」講座へポラン ティア参加する。	・保護者による持ち物、宿題 チェックを毎日実施する。 ・家庭学習のしおりによる家庭学 習のチェックを毎日実施する。 ・「アップ」講座への支援について 家庭での検討を行う。
※自己評価	人を慈しむ子の育成	(挨拶活動) 1 教職員アンケートで「自分から挨拶 をする子が育ったか」と思いますが の肯定的な回答100%を達成する。 (ポランティア活動) 2 児童の生活アンケートで「ほかの人 にやさしくできたか」の回答で肯定的な 回答が85%以上になる。	・挨拶運動・登校指導への参加 を行う。 ・家庭内の挨拶を励行する。 ・6年生に命の重さ授業を実施 する。	・50%以上の保護者の運動参 加を目指す。 ・家庭でのあいさつ励行が 80%以上の肯定的回答を得 る。 ・北部3校（北部中・亀川 小）で連携し、PTAとして の取り組みを充実させる。
※自己評価	意欲的に活動する子の育成	(清掃活動) 1 児童の生活アンケートで「しーんと そうじ」（無言清掃）ができた と回答する児童の割合を85%以上にする。 (体がつくり) 2 児童の生活アンケートで「体がつく りのために何かをがんばりつづけて か」の回答で肯定的な回答が80%以上 になる。	・年度初めに机、椅子の高さ調 節を行い学習環境を整える。 ・長期休み中に学校の環境整備 を行う ・家庭で体力向上に向けた取 り組みを積極的に行う。	・各学年での呼びかけを盛ん にし、通信等での広報に努め る。 ・学年懇談や通信などでの周 知活動を盛んにし、参考事例 などの紹介を積極的に行う。
※自己評価				

学校運営協議会（コミュニティ・スクール推進委員会）から

・まだまだ学校の活動や呼びかけに対しての反応が広がる必要がある。
そのためには、CS関連やPTA活動の広報活動を効果的に、盛んにする必要がある。

平成27年度 学校運営協議会

取組【地域用シート】

別府市立上人小学校 学校運営協議会
平成28年2月29日

※家庭での重点的取組、取組指評は「重点目標」に対しての取組ととらえ作成します。(学校の重点的取組・指標とは直接関連しません。)

項目	重点目標	重点目標の達成指標 (職域指導)	重点的取組	地域での取組指標	取組指標の達成指標	改善策
	学 ぶ 力 の 向 上	1 児童の働き方アンケート「聴き方名人になろう」において、「語の内容を理解しよう」と答えた児童の割合を80%以上にする。 (朝のドリルタイムの発表) 2 「音読名人になろう」において、「気持ちよく読んで答えた児童の割合を80%以上にする。	地域の文字による学習支援を継続する。 ・公民館による「ふくろう学級」を実施する。 ・夏休みスタジアム講座にボランティア参加する。 ・水曜日の学習支援にボランティア参加する。	毎週水曜日6限の地域の文字による学習支援を継続する。 ・公民館による4年生対象の水曜日学習支援「ふくろう学級」を実施する。 ・夏休みスタジアム講座等にボランティア参加する。 ・水曜日15:00～の学習支援にボランティア参加を心掛ける。	・大学生だけでなく、地域ボランティアの方々の学習支援を呼び掛ける。 ・地域への周知活動を盛んにし、協力を呼び掛ける。	
※自己評価	人 を 慈 し む 子 の 育 成	(挨拶活動) 1 教職員アンケートで「自分から挨拶をする子が買ったと思えますか」の問いの肯定的な回答100%を達成する。 (ボランティア活動) 2 児童の生活アンケートで「ほかの人にやさしくできたか」の回答で肯定的な回答が85%以上にする。	・自治会・民生委員による挨拶運動・登校指導を実施する。 ・日常の挨拶の徹底を心掛ける。 ・地域の人から児童への日常的な声かけを積極的に行う。	・毎月複数回、自治会・民生委員による挨拶運動・登校指導を実施する。 ・日常の挨拶の徹底を心掛ける。 ・登下校時やその他の時間に地域の人から児童への日常的な声かけを積極的に行う。	・学校通信等による学校の周知活動、自治会・民生委員会などでの周知活動盛んにし、協力を呼び掛ける。 ・学校通信等による学校の周知活動、自治会・民生委員会などでの周知活動盛んにし、協力を呼び掛ける。	
※自己評価	意 欲 的 に 活 動 する 子 の 育 成	(清掃活動) 1 児童の生活アンケートで「レームとそうじ」(無量清掃)が得意だと回答する児童の割合を85%以上にする。 (体力づくり) 2 児童の生活アンケートで「体力づくりのために何かをがんばりつづけてきましたか」の回答で肯定的な回答が80%以上になる。	・地域清掃活動、お祭りなどに多くの児童を参加させる。 ・地域の運動会に多くの児童を参加させる。	・行事前に十分な告知を行い、多くの児童を参加させる。 ・運動会前に十分な告知を行い、多くの児童を参加させる。	・各活動への居住児童の参加率を70%以上にする。 ・地域運動会への児童の参加率を60%以上にする。	
※自己評価						

学校運営協議会(コミュニティ・スクール推進委員会)から

・先生方が習熟度別授業や補充学習等に取り組み、努力していることが分かる。結果をあせらず、地道に取り組んでほしい。
・子どもたちの学習意欲が高まる方法を積極的に考えてほしい。
・地域が学力向上のために何かができるか考え、整理することが必要である。
・積極的な広報活動に取り組んでほしい。

県教委指定 目標協働達成モデル校「田尻小学校」の具体的な取組指標

重点指標	達成指標	重点的取組	学校取組指標	保護者取組指標	地域取組指標
確かな学力	学力テストで 県・市平均を 5%上回る。	①分かる授業	板書形式の統一 100%	家庭学習の点検 週6回 90%以上	出会った 子どもに 挨拶・声かけ 80%
		②授業規律の徹底	学習の5つの約束 90%以上		
		③基礎基本の徹底	計算ドリル3回 100%		
		④家庭学習の定着	宿題の提出率 90%以上		
健やかな身体	体力・運動能力 テストで 全国平均達成率 60%	①授業での運動量	汗をかく体育授業 90%以上	早寝・早起き ・朝ご飯 週5回 90%以上	
		②外遊びの奨励	室内居残り 10%未満		
		③チャレンジタイム	週2回実施 100%		
		④規則正しい生活	無遅刻 90%以上		
豊かな心	チクチク言葉の 不使用率 80%	①道徳の時間の一工夫	道徳の授業公開 100%	あいさつ OITA+1運動 毎日 90%以上	危険行為や 迷惑行為は 注意・即刻通報 (可能な限り)
		②体験学習の推進	地域住民参加活動年2回		
		③人権集会の実施	人権集会・人権月目標 各1回		
		④挨拶運動の展開	挨拶当番 全員1回		

平成27年度 学校・家庭・地域版の重点目標、達成指標、重点的取組、取組指標

青江小学校

重点目標	達成指標		重点的取組	取組指標
確かな学力が定着した子の育成	<ul style="list-style-type: none"> ○各学年とも「低学力層」児童の割合を年度内に10%以下にする。 ○全国・県の学力調査、市の標準学力調査において全国偏差値50を上回る。 	学	○青江小授業スタイルを定着させるとともに、「わかる授業」、「学び合う授業」の確立を目指す。	○校長、教頭による授業観察を行うとともに、青江小スタイルによる提案授業を年数回行う。 ○毎回の単元別テストで <u>60点未満の児童が10%未満</u> を目指す。
		校	○朝のチャレンジタイムに週2回、放課後サポートに週1回取り組み、基礎基本の定着を図る。	○チャレンジタイムは、(月)は国語、(水)は算数を行い年間70回を目標とし、前学年までの基礎・基本を徹底する。 ○放課後サポートは(火)を中心に、 <u>年間35回</u> の実施を目指す。
		家庭	○全家庭で家読に取り組む。	○毎週木曜日、各家庭で読書の時間を設定して本を読む。読んだ後は「読書カード」に記入。
		地域	○授業参観やGTなど、進んで学校を訪れる。	○授業参観・ゲストティーチャー・学習サポーターとして学校の授業に進んで関わるようにする。
自尊感情の高い子の育成	<ul style="list-style-type: none"> ○「自分にはいいところがある」と自信を持って回答できる児童の割合を80%以上にする。 	学	○児童の良さを認め、自信を持たせる指導に取り組む。	○人権教育に関する授業を <u>学期に1回以上</u> 行う。 ○日常活動として日記や作文、朝・帰りの会でのスピーチ活動等に取り組む。
		校	○共感的人間関係を育む児童会活動を活性化させる。	○友だちのよいところを見つけ花びらカードに書いて貼っていく全校「花咲き山」運動に、年間を通して取り組む。 ○「花咲き山」運動の良い事例を、 <u>全校朝会(月1回)</u> や <u>昼の校内放送(週1回)</u> で紹介する。 ○児童会ボックスと児童会黒板を活用し、よりよい学校生活づくりへの参画意識を高めさせる。 ○児童朝会、掃除、あいさつ運動、クリーン活動、長縄大会などに「縦割り班活動」を多く取り入れる。
		家庭	○あいさつ運動を推進する。	○毎月第3金曜日7:20～8:00の間、地域の方とともに子どもたちにあいさつを呼びかける。
		地域	○ふれあい交流などの体験活動に進んで参加する。	○ふれあい交流体験、昔の遊び体験などの体験活動にゲストティーチャーとして参加する。
進んで体力づくりをする子の育成	<ul style="list-style-type: none"> ○進んで体力づくりをする児童の割合を80%以上にする。 	学	○全校児童が、運動や外遊びに積極的に取り組み、集団遊びができるようにする。	○縦割り班活動による集団遊びに学期に2回以上取り組む。 ○リレー大会、マラソン大会、縄跳び大会それぞれに2週間前から、個人や縦割り班で目標を決めて取り組む。
		校	○体育の授業改善に取り組む。	○共通事項として、準備体操でラジオ体操を行い、A5(腕立て・腹筋等)の補強運動を合わせて <u>10分間程度</u> 取り入れる。
		家庭	○家庭と連携して「早寝・早起き・朝ごはん」の生活習慣の確立に取り組む。	○学期に1回調査を行い、分析・考察結果を知らせ意識改革を図る。 ○「食育」の授業を栄養職員と連携しながら、 <u>各学年1回以上</u> 行う。
		地域	○ラジオ体操を推進する。	○10:00までに就寝、6:00までに起床して、必ず朝ごはんを食べさせる。 ○夏休み、朝6:30～6:45、地区ごとに子どもたちと一緒にラジオ体操を行う。

平成27年度 昭和中学校「協働4点セット」

重点 目標	達成指標		重点的取組	取組指標
<p>確かな学力の定着</p>	<p>○次年度（H28）の全国学力・学習状況調査（現2年生）・大分県学力定着状況調査（現1年生）及び今年度の佐伯市評価規準診断テスト（現1年生）で各平均を上回る。</p> <p>○定期テストの平均点6割以上を70%以上、4割未満を10%未満にする。</p>	<p>学校</p> <p>○学習意欲・態度の喚起</p> <p>○学習規律・学習習慣の徹底</p> <p>○メリハリのある一時 間完結型授業の徹底</p> <p>○積極的な情報発信による、「学校の見える化」の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学級・教科担任はノートにコメントを載せ、よいノートを積極的に展示する。 ・全教員が授業規律「4つのJ」を繰り返し、徹底して指導する。 ・学級・教科担任は生活ノート・自学ノートを点検し、学習の仕方を徹底して指導する。（「学びの手引」の活用） ・学級担任は家庭学習→朝学習→定期テストの学習サイクルを徹底する。（「地道・徹底シート」の活用） ・教科担任は毎時間、目標・学び合い・まとめ・言語活動を位置付け、板書とノートが連動する指導を徹底し、思考ツールを導入する。（学期2回の互見授業実施） ・学校日より、学級・学年通信を定期的に発行し、ホームページに掲載する。 	
		<p>家庭</p> <p>○子どもの学習意欲を高める。</p> <p>○子どもの家庭学習習慣を定着させる。</p> <p>○親が子どもに積極的にかかわる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・週に1回「自学ノート」を見て、コメント（ほめること・やる気にさせること）を書き、これを徹底する。 ・週に1日の「ノーゲームデー」等、ゲーム・スマホを使う時間を制限するルール作りをし、これを徹底する。 ・「弁当の日」をきっかけに、親が子どもに積極的にかかわる。 	
		<p>地域</p> <p>○地域が子どもに積極的にかかわる。</p> <p>○学校の様子を地域に広める。</p> <p>○地域の小学校と協働した小中連携の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・区長会や地域行事の際、又は電話等で、地域の声（生徒や学校の良いこと、気になること）を学校に届ける。 ・学校だよりを月1～2回程度、弥生振興局の協力により、地域に回覧する。 ・昭和中学校区小中連携教育推進協議会 ・小学校3校と中学校の児童生徒交流会 ・本校生徒による小学校学習ボランティア 	

平成27年度目標協働達成モデル校の取組に係る重点目標・達成指標・重点的取組・取組指標
豊後大野市立朝地小・中

重点目標		達成指標	重点的取組	取組指標
学力の向上	学校	自ら進んで学習する児童・生徒の割合80%以上	学習規律の確立	○「五つの学びの約束」を意識した授業を行う。 ○「五つの学びの約束」が定着するための点検や指導を行う
		小学校 ・県学力定着状況調査で教科偏差値50到達 ・「5つの学びの約束」が守れる児童100%	授業改善	○各期授業改善の5点セットに基づいた授業を行う。 ○言語活動を取り入れた授業に取り組む。 ○板書計画を作成して授業に臨む。
		中学校 ・定期テストで低学力層(30点以下)8%以下 ・市統一テストで市平均以上の生徒65%以上	基礎・基本の定着	○朝学習や放課後学習を実施する。 ○授業形態を工夫し、個に応じた指導を行う。
	家庭	毎日決まった場所と時間に学習する児童・生徒を80%以上にする。	学校・家庭が協力した家庭学習の改善	毎週1回以上、保護者と児童・生徒が家庭学習について話し合う。
		学年で決まった学習時間を達成できた児童・生徒を80%以上にする。		
豊かな心の育成	学校	学校が楽しいと感じる児童・生徒を100%にする。	児童・生徒の笑顔があふれる学校づくり	○発達段階に応じた自尊心を高める取組を行う。 小学校 ・ありがとうの木 中学校 ・GOODカード
		5つの「生活の約束」が守れる児童・生徒の割合を80%以上にする。	あいさつの徹底 清掃の徹底	○毎学期、小・中連携したあいさつ運動を行う。 ○発達段階に応じたあいさつ指導を行う。 ○時間いっぱい児童・生徒と教職員が真剣に清掃に取り組む。
	地域	80%以上の地域住民の皆様から、児童・生徒が気持ちの良いあいさつをしているとご回答いただけるようにする。 80%以上の地域住民の皆様から、朝地小・中学校は活気があるとご回答いただけるようにする。	地域や学校で児童・生徒とのふれあい	月1回以上、地域や学校で児童・生徒とふれあう。

九重町 立

南山田小 学校

【教育目標】

地域とともに かしこく やさしく たくましく生きる児童の育成

【重点目標】

- 基礎・基本の定着した児童の育成(かしこい子)
- お互いを認め合う児童の育成(やさし子)
- 運動好きな児童の育成(たくましい子)

重点目標	達成指標	重点的取組	取組指標	評価	3学期への改善点	
基礎・基本の定着した児童の育成	○ 12月の町独自の基礎・基本テストにおいて全学年で目標値を上回る。	○ めあて・まとめを明確にした「1時間完結」型授業を徹底する。	○ 全ての教科において「めあて」「考え作り」「まとめ」を板書やノートに位置づけた授業を実践する。			
		○ 全校ドリルタイムを設定し、基礎・基本の定着を図る。	○ 国語(「がっちりプリント」「百ます作文」)算数(既習事項の確認プリント)を活用した全校ドリルタイムを水・金の9:00から15分間実施し、全職員で取り組む。			
		○ 家庭学習の約束を徹底し、学習時間を確保する。	○ 家庭学習時間(10分×学年+10分)に取り組み、日常の点検を個や学年に応じた形で行う。			
	○ 家庭学習時間の達成率80%以上。	家庭	○ 「ノー・メディアデーの取り」の取組と感想を交流する。	○ このえ緑陽中学の定期テストに合わせて年間5回の「ノー・メディアデー」を実施する。		
			○ 「家庭学習の約束」を徹底するための支援を行う。	○ 家庭学習の時間が守られているか毎日声かけと点検をする。		
	○ 学校の授業計画に沿ったゲストティーチャーや学習サポーターに取り組む。	地域	○ 地域・サポーターと連携した学習を1回以上行う。地域の見守りとして子どもに出会ったら必ず声をかける。	○ 毎月15日の公開日の授業参観への参加者数を1回あたり10人以上にする。保護者以外の参加に取り組む。		
			○ 「学校に足を運ぼう」運動の推進。			

※3つの重点目標すべてに「家庭」「地域」の欄を設けていますが、必須ではありませんので、学校の実情に応じて、自由に設定し直してください。

玖珠町

立

八幡中

学校

【教育目標】

ともに考え ともに伸びる

【重点目標】

- 基礎基本の徹底 90分以上の家庭学習の習慣化
- 認め認められる 自己有用感の向上
- 「学校へ行く」 来校者の増加

重点目標	達成指標	重点的取組	取組指標	評価	改善点
90基礎以上の徹底の家庭学習の習慣化	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各種学力調査において町平均を上回るとともに正答率50%以上の生徒を増やす。 ・正答率50%未満の生徒の割合を10%未満にする。 ・「90分以上家庭学習をしている」割合を85pt以上にする。 ・週末課題の提出率を100%にする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 授業を充実させることを基本に、週末課題を出題する。 ○ 学習意欲を引き出す指導を重視する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 週5枚以上、データベースを活用し、毎週末課題を出題する。意欲を持って授業に参加している生徒を増やす。 		
		<ul style="list-style-type: none"> ○ 「親子で家庭学習」に取組み、子どもの勉強に関わる。 ○ ノーメディアウィークの取組を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 定期テスト前に「親子で家庭学習」「ノーメディアウィーク」に取組む。 		
		<ul style="list-style-type: none"> ○ ゲストティーチャーによる添削指導を充実させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 2月の町確認テストに向けた添削指導により達成率アップを目指す。(1学年40%→70%) 		
認め認められる向上	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「学校が楽しい」と感じる生徒の割合を増やす。 ・「学校が楽しい」と感じる生徒の割合を85pt以上にする。 ・「いじめのない学級づくり」をすすめている感じる生徒の割合を90pt以上にする。 ・「互いに励ましあい、高め合う」ことができていると感じる生徒の割合を80pt以上にする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒主体による行事を充実させる。自己有用感が持てるような人間関係づくりを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒集会や生徒会行事に月1回以上取組む。いじめ・生活アンケートを1回実施し、その後教育相談を行う。 		
		<ul style="list-style-type: none"> ○ 面接指導の結果を保護者に伝え、普段からの生活が大切になることを保護者からも指導できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生活状況調査等の結果を知らせるなどPTA懇談会等で定期的に情報交換を行う。 		
		<ul style="list-style-type: none"> ○ 面接指導の面接官として指導をお願いする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ゲストティーチャーによる面接指導を実施する。 		
「学校へ行く」来校者の増加	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「家庭や地域の願いを聞いて教育活動をしている」と感じる保護者や地域の割合を85pt以上にする。 年間のべ50名以上のゲストティーチャーを招へいする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校の様子を積極的に家庭や地域に発信する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 月2回以上、学校の情報を発信する。学校HPを定期的に更新する。 		
		<ul style="list-style-type: none"> ○ 定期的なPTA懇談会以外にも学校見学会、給食試食会等を積極的に呼びかける。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学期に2回以上は来校し、子どもの様子を見る。 		
		<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校行事や学習時のゲストティーチャーとして教育支援を行なう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ゲストティーチャーを招へいし、行事や学習支援を受ける。 		

※3つの重点目標すべてに「家庭」「地域」の欄を設けていますが、必須ではありません。学校の実情に応じて、自由に設定し直してください。